

消費税増税反対！道路特定財源の一般財源化と暫定税率廃止で暮らしを守れ！

「ご近所のみなさん、日本共産党です。」

ガソリンや灯油に続いて、パンをはじめ食料品の値上げが、ジワジワと、生活を脅かしているのではないのでしょうか。

こういうとき、庶民の暮らしを守るために、政治は総力をあげるべきです。

道路特定財源の一般財源化と、暫定税率の廃止で、暮らしを守ってほしいという声をあげようではありませんか。

社会保障財源を口実とした、**消費税増税反対**という声を、あげようではありませんか。

日本共産党の奮闘と見解を、是非、聞いてください。ご協力を、よろしくお願いします。

みなさん。

ガソリン税など、道路特定財源のしくみは、国民の暮らしをそっちのけにした、無駄使いそのものです。

十か年間に五十九兆円という、総額先にありきの「道路整備中期計画」に従って、**高速道路**など道路建設だけに、**税金**を、湯水のようにつぎ込むしくみです。

「道路整備中期計画」にもりこまれた、地域高規格道路のなかには、東京湾口(とうきょうわんぐち)に、もう一つの横断道路をつくる計画など、全国で六つもの、海峡横断道路を建設する計画があります。

東京湾横断道路といえ、一メートル分の建設に、一億円もかかったと言われる道路です。しかも、通行量が予定の四割という、大赤字の道路でもあります。ここに、もう一本横断道路をつくるなど、もつてのほかではないでしょうか。

日本共産党は、「道路整備中期計画」は撤回して、生活道路や通学路の整備など、本当に必要な道路を、優先的に整備するべきだと考えます。

道路舗装が極端に遅れていた時代の、なごりでもある、道路特定財源は、一般財源化して、くらしにも福祉にも使えるようにするべきです。勿論、暫定税率は廃止するべきです。

公明党の冬柴・国土交通大臣は、日本共産党の追求に対して、六つの海峡横断道路の「調査は中止する。」、天下りの調査機関は「解散する」と、答えました。「調査の中止」にとどまることなく、「計画」の閣議決定そのものを、キッパリと止めるべきではないでしょうか。

「近所のみなさん、日本共産党です。」

四月一日、消費税が導入されて、二十年目を迎えます。

買った物をするたびにとられる、五パーセントの消費税は、どなたにとつても、重たいものではないでしょうか。

その上、昨年は、住民税増税など庶民増税に悩まされました。今年は、後期高齢者医療制度など、お年寄りを、重たい負担と差別で悩ます、社会保障の改悪です。**本当にたまりません。**

しかも、福田首相は、所信表明演説のなかで、「消費税を含む税体系の抜本的改革について、早期に実現をはかる必要がある」と表明したのですから、大変です。自民・公明の与**党も**、来年度を用途にした、消費税増税の地ならしを始めました。民主党も、これに応じて、消費税増税の立場を明らかにしています。

みなさん。

「道路特定財源」や**軍事費**など、国民の暮らしをそっちのけにした、無駄づかいをやめさせようではありませんか。**バブル**のときの二倍ものもうけをあげている、大企業に応分の負担を求めれば、消費税増税の必要はないという声をあげようではありませんか。

日本共産党は、経済財政の軸足を、国民の暮らし第一に切り換えるためにがんばります。